



人形をモデルに、人工呼吸を実践する受講者

いざという時に備え 車門地区が救命講習

車門自治会（本宮正志会長、76世帯）は10月16日、車門ふるさと会館の避難訓練と合わせ、心肺蘇生法の講習会を開きました。

参加者は、盛岡中央消防署葛巻分署の職員から気道確保や人工呼吸、心臓マッサージなどの指導を受け、一人一人真剣に取り組んでいました。また、葛巻病院ほか2カ所に置いているAED（電気ショックを与える機器）の使い方も学びました。

本宮会長は「高齢化が進んでいるので、いざという時に慌てないように人命救助の方法を家庭や地域で覚えておくのは大事なこと」と話していました。葛巻分署では「講習会を希望する団体は気軽に申し込んでほしい」と呼び掛けています。

心一つに力を合わせ 葛巻小が学習発表会

統合して初めての葛巻小学校（長谷川滋校長、児童223人）の学習発表会は10月15日、同校体育館でにぎやかに行われました。テーマは「心を一つに、未来へはばたけ葛巻の子」。工夫を凝らした各学年のステージ発表のほか、学校統合を機に取り組んでいる活動の一つ「表現集会」の成果として、全校による音読と統合記念歌「未来に向かって」の合唱が行われました。統合記念歌は、全校から歌詞とメロディーを募集し、町内で音楽活動をしている沢口浩さん（43歳・中村）の協力を得て完成したものです。

力強い歌声、瞳の輝き、一生懸命に取り組む姿に、子どもたちの明るい未来が見えてきます。



統合記念歌を力いっぱい歌う全校児童

町民総合 体育大会

スポーツの秋を満喫 北部地区が中期制す

第二十一回町民総合体育大会の中期競技と第十三回町民スポーツ・レクリエーション祭は十月九日、約三百五十人が参加して町総合運動公園で行われました。

テニス・ボールほか三種目で競い合った中



練習の成果を発表し「いわて・わくわく体操」を存分に楽しんだ葛巻ジャズ体操クラブと舞スマイルダンス教室の皆さん（写真中央）

全国 スポレク祭

体操で心もワクワク スポレク祭の開会式

十月一日、第十八回全国スポーツ・レクリエーション祭の開会式が北上総合運動公園で行われ、アトラクションとして、「いわて・わくわく体操」が披露されました。本町からも葛巻ジャズ体操クラブ（田向良枝代表）と舞スマイルダンス教室（越田直美代表）の会員三十七人が参加。総勢千八百人の大演技で岩手のパワーを会場いっぱいにはアピールし、選手や観客から盛んな拍手を浴びました。